

令和6年伊賀市議会2月定例会月会議 一般質問通告者一覧

【発言予定日 3月4日（月）】

発言 順位	発 言 者	発 言 の 要 旨
1	西 口 和 成	1 伊賀市の人口減少問題解決にむけて 2 岡本市政の人事方針について 3 投票所について
2	北 森 徹	1 市民の声が市政に反映するのか (1) 中学生議会での行政の対応 2 第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画中間案について (1) 中間案に関すること (2) 市街地活性化に資する事業に関すること
3	百 上 真 奈	1 すべての子どもたちの育ちの支援について (1) 18歳までだれでも利用できる児童館 (2) 児童・生徒の無料自習スペース (3) 待機児童のための待機児童館 (4) 子どもの医療費助成を18歳年度末まで拡大 2 保育士配置基準の引き上げについて 3 命を守る住宅耐震化の促進について (1) 住宅耐震化の現状と促進 (2) 補助金の「代理受領制度」の導入 (3) 高齢者世帯および避難行動要支援者の住宅耐震化
4	釜 井 敏 行	1 公共施設最適化計画のこれまでの取組みと、今後のあり方について (1) これまでの目標の達成状況と、最終目標の達成の見込みは (2) 本計画における青山保健センターの位置付け (3) 公共施設の「一人あたりの経費」の公表について (4) 今後の計画推進にあたっての方針は 2 伊賀市部落差別解消推進計画中間案について (1) 「被差別部落」「被差別部落住民」という文言を使うことの問題点 (2) 隣保館の「相談力」の評価は (3) 最重点評価指標の設定のあり方

5	山下 典子	1 消防水利について (1) 防火水槽と消火栓の設置状況 (2) 防火水槽の維持管理 2 断水対策について 3 防災訓練について 4 会計年度任用職員の処遇改善について 5 A E D (自動体外式除細動器) について
6	森中 秀哲	1 能登半島地震を踏まえた「市民・地域と共に取り組む震災対策」 (1) 住宅の耐震 (2) 備蓄 (3) 集落孤立 (4) 「地域力」を高める体制づくり

【発言予定日 3月5日（火）】

7	市川 岳人	<p>1 新任期を迎える教育長の方針について</p> <p>(1) 学力向上に向けた取組</p> <p>(2) いじめ問題への対応は？不登校児童生徒の学習保障に向けた取組</p> <p>(3) 障がいのある子どもの学習を保障するインクルーシブな教育についての考え方</p> <p>2 未来へ躍進する施政及び予算編成方針に触れて</p> <p>(1) 戦略的な企業誘致について</p> <p>(2) 市内定住施策について</p> <p>(3) 外国人労働者の受け入れ、支援体制について</p>
8	福岡 正康	<p>1 産業廃棄物処理場の計画について</p> <p>2 農業及び中山間地域の振興について</p> <p>3 高齢者福祉について</p>
9	濱瀬 達雄	<p>1 忍者市について</p>
10	桃井 弘子	<p>1 伊賀鉄道活性化について</p> <p>2 大山田地域複合施設について</p> <p>3 防災について</p>
11	増田 雄	<p>1 次世代へ繋ぐ施策について</p> <p>(1) 市職員の適正配置</p> <p>(2) 民俗文化財の防災</p> <p>(3) 2025年に向けた観光案内</p>
12	赤堀 久実	<p>1 オーバードーズ（医薬品の過剰摂取）について</p> <p>(1) 伊賀市の現状</p> <p>(2) 相談窓口と相談体制</p> <p>(3) 予防教育の実施や孤独・孤立対策への取組み</p> <p>2 マイナンバーカードの取組みについて</p> <p>(1) 現状と課題</p> <p>(2) 健康保険証との紐づけと今後の取組み</p> <p>3 公共施設のトイレについて</p> <p>(1) 公共施設の多目的トイレ</p>

【発言予定日 3月6日（水）】

13	上田 宗久	<p>1 伊賀市の人口減少にどう向き合うのか</p> <p>(1) 将来推計人口に対する市長の見解</p> <p>(2) 生産年齢人口の減少と中期財政見通し</p> <p>(3) 年少人口の減少と「伊賀市学校みらい構想」</p> <p>2 持続可能な伊賀市づくりについて</p> <p>(1) シビックプライド（郷土の誇り）の醸成について</p>
14	田中 覚	<p>1 伊賀市行政の効率化について</p>
15	西條 エリ子	<p>1 能登半島地震から考える伊賀市の防災・減災について</p> <p>(1) 災害時の避難所について</p> <p>(2) 耐震対策について</p> <p>(3) 消防団と自主防災組織について</p> <p>(4) 伊賀市の被災地支援について</p>
16	西田 方計	<p>1 獣害対策の考え方について</p> <p>(1) 近年の獣害の状況は</p> <p>(2) 集落ぐるみの取り組み状況は</p> <p>(3) 伊賀市有害鳥獣捕獲事業報償金のあり方は</p> <p>(4) 捕獲・追い払い活動を維持する支援は</p> <p>2 集落支援員制度について</p> <p>(1) 集落を調査することの意義は</p> <p>(2) 集落支援員制度の導入に向けた検討の進捗状況は</p> <p>3 よりよい奨学金制度にするための観点について</p> <p>(1) 伊賀市が奨学金制度を設置した歴史や目的は</p> <p>(2) 奨学金制度の利用状況と効果は</p> <p>(3) よりよい奨学金制度にするための観点は</p>
17	宮崎 栄樹	<p>1 伊賀市がめざす有機農業の将来像について</p> <p>(1) 先進地域である伊賀市の役割は</p> <p>(2) オーガニックビレッジ宣言の検討状況は</p> <p>(3) 独自性を打ち出した施策展開を</p> <p>2 合併処理浄化槽の普及による環境保全と空き家利活用の促進について</p> <p>(1) 店舗を対象とする補助金の交付エリア拡大を</p>
18	中谷 一彦	<p>1 公共施設の賃貸借契約について</p> <p>2 文化財の保存について</p>